

【授業科目】総合臨床医学

ユニット責任者：日浅陽一 (第三内科)

一般目標

消化器病学、内分泌・代謝病学において、内科臨床にかかわる事項を修得する。内科臨床においては頻度の高い疾患が多く、臨床教育として重要な領域である。病因・病態生理・病態栄養については基礎的なレベルにまで掘り下げて理解を求める。

学習上の注意

テキストは①Harrison 内科学、②内科診断学（福井次矢著、医学書院）、③内科学（矢崎義雄総編集、朝倉書店）。

授業の形式はテーマとなった疾患や話題に関する講義、質疑応答が中心である。講義では配布プリントに加え、画像や組織所見などについてはパワーポイント等を用いて供覧する。

評価方法

筆記試験にて行う。

【授業日、時間、担当教官及び講義内容等】

日時	曜日	時限	主題	担当
4月1日	月	3	B型肝炎をめぐる話題と課題への取組	日浅
4月2日	火	1	肝疾患診断へのアプローチ	阿部
4月3日	水	2	肝画像診断の tips	廣岡
4月4日	木	3	炎症性腸疾患	池田
4月5日	金	4	胆膵疾患から学ぶ EBM	黒田
4月9日	月	2	胃癌の内視鏡治療	竹下
4月10日	水	6	医師国家試験の傾向からみた臨床実習のあり方	熊木
4月11日	木	3	糖尿病と癌	三宅
4月11日	木	4	7年間見逃されていたカルシウム異常症	松浦